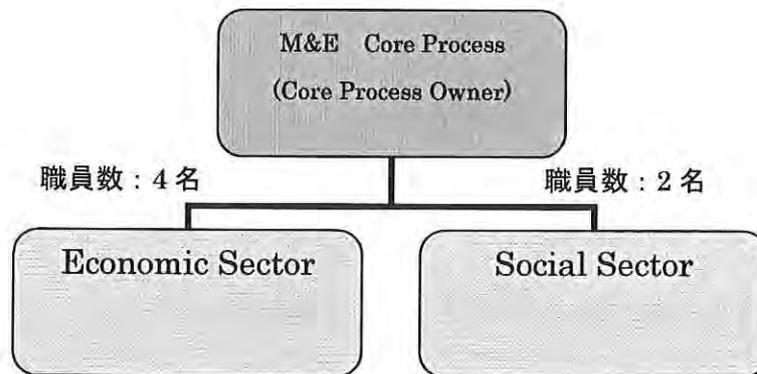


4.5 M&E プロセス

4.5.1 M&E システム

現在の M&E は計画策定・実施のプロセスとは独立した形で実施されている。先に示した BoFED の組織図にもあるように、独立した M&E の部署が存在する。この M&E の部署は経済セクターと社会セクターに分けられ、経済セクターは農業、地域開発、産業開発、建設・建築などの経済に関連するセクターの事業の実施にかかる M&E を行い、社会セクターは、保健、教育などの社会開発に関連するセクターの事業の実施にかかる M&E を実施する。計画・策定のプロセスから M&E のプロセスが切り離された背景は、以下のとおり。

- 計画実施にかかる持続性を確保することで時間の効率的活用を促進する
- 計画行政官のワークロードを軽減する
- 計画策定と M&E 機能の重複を避ける
- 効率的かつ反応の良い M&E システムの確立



(BoFED の M&E Core Process 構成)

しかし、現在、BoFED 内には、M&E にかかる技術ガイドラインや、マニュアルは存在しない。現在は MoFED が策定した M&E ガイドラインを使用しているが、これは、実務的なガイドラインというよりも、M&E の原則を示しているだけのものである。

WoFED 内にも PME が存在し、州と同様の機能を形式的にはもつ。ケベレレベルでは、計画情報担職員と ad-hoc な委員会が管理・監督、M&E を実施する権限・責任をもつ。ケベレレベルではセクター担当者も同様に月次ベースでプログラム・プロジェクトの進展について郡のセクター局へ報告する責任を負う。

現在、2種類の M&E が実施されている。ひとつは、現地調査、もうひとつは定期的な M&E 報告である。現地調査は、州レベルの担当セクター局と BoFED の合同チームによって実施される。この現地調査とモニタリングは、四半期ごとに実施され、報告書が出される。この現地調査の主要な目的は、特定の事業を監視・監督し、重要な問題を特定し、期日までに解決へ導くことである。

現状では、モニタリングと評価の明確な区別はない。現地調査は、4半期ごとに実施される。これには、実施機関の技術スタッフが参加し、ZoFED や WoFED の PME が主導する。実施機関はまた、彼らの開発プロジェクト・プログラムにかかる定期的な現地調査を実施する。しかし、

予算不足により、多くの郡では、4半期ごとの現地調査がなされているのみである（セクター局によるM&Eの実施が少ない）。郡によっては、特に教育や保健セクターにおいては、月次の現地モニタリングを資金不足ながらも実施しているケースもある。

現地調査には、多くのステークホルダー〔州・県・郡のセクター局（通常、郡・セクター局がプロジェクト・オーナー）、コミュニティ、コントラクター、主要な情報提供者、ケベレの Inspection and Supervision Committee (ISC)、スーパーバイザー（教育、保健セクター）、郡・県セクター関連部署、ケベレ・郡の administration、BoFED の M&E チーム〕が参加する。ディスカッション、グループからの意見聴取、情報収集、助言の聴取、その他モニタリングの結果は、プロジェクト／プログラムの実施モダリティ、スケジュールの変更・遵守、資金と計画のギャップ、活動の再配置と修正、責任の委譲、今後の計画実施のため教訓のみならず重要な制約の特定へのインプットとなる。

この調査結果は、プロジェクト・オーナー、意思決定者、計画担当官、事業実施者へのインプットとなり、事業を改善するにあたり、迅速なフィードバックや、技術的、管理的な意思決定を可能にする。現地調査の手法は以下のとおり。

- 重要な事業にかかる現地調査であることが前提
- 郡、県のセクター局から提出された報告書の分析
- 短期間での調査の実施
- 関連するステークホルダーとの協議
- コミュニティと実施機関間の協議
- 情報収集フォーマットである質問票と、それらのツールを通じて取得した情報の分析
- 計画・予算実施に関連する組織への質問
- suspicious な事業のフォローアップ
- 必要とされる場合には技術支援等サポートの供給

現地調査は、キャパシティ・ビルディングや、技術支援的役割も果たしている（特にケベレの場合）。しかし、グループによる現地調査のスケジュールは、人材、交通手段、予算などが郡セクター局や WoFED で不足していることにより、不定期かつ不適切なものとなっている。

一方で、定期的なモニタリング・評価はさまざまなレベルで実施されている。

ケベレレベルにおいては、ISC が毎週会議を開いている。この定期会議には、委員会メンバー、ケベレ・マネジャー、ケベレ・アドミニストレーションとセクター関係者が参加し、進展について協議する。この会議結果は、月次で実施されるケベレキャビネットと、セクター関係者によって実施される会議へ反映される。多くの郡において、ケベレ議会は2から3カ月ごとに市民を交えて実施されるが、これもまた評価の一部となっている。この議会において、四半期報告書が提出され、主要な問題点についての協議がなされ、当該年度により実施される継続事業についての決定がなされる。

郡レベルにおいても同様の会議がセクター局により開催され、月ごとに問題と達成度について

協議がなされる。月次会議は、ケベレレベルのすべてのセクター担当者、セクター局のマネジメントと技術スタッフを含めて行われる。この会議はモニタリングとして重要なだけでなく、草の根レベルのスタッフと、組織の技術的なエキスパートが経験を共有する上でも重要である。また実施上の問題、能力・技術的限界の解決においても効果的であると認識されている。主として、保健、教育、農業農村開発分野の郡・セクター局においてこういった手法が採られている。しかし、近年予算不足により会議が弱体化しつつある。

県レベルでは、セクター局が会議を設定するものの、資金不足により不定期なものとなっている。

定期的な M&E 報告は、州セクター局または ZoFED より BoFED に提出される。これらの報告書は四半期ごとに作成され達成度が数値 (%) で示される。これらは主として投入と活動といくらかの成果を含むが (最終年次報告書は除く)、最終年次報告書は、全体的な事業実施期間での達成度について評価がなされる。年間に、4つの四半期報告書と、年次報告書が策定される。

しかし、これら作業が効率的・効果的に実施されるには、移動手段、人的資源ともに不足・制約がある上、各ステークホルダー間のコミュニケーション不足などが、脆弱なフィードバック、報告書提出の遅延につながっている。国土が広大で、かつ、郡やタウンの数が増加する中で、四半期に一度の現地調査は、全体のパフォーマンスを把握するには不十分である。現地調査にせよ、定期的な M&E 報告にせよ、それらへの重要なインプットは、前年度の M&E 報告書、年次報告書、セクター局による活動計画とガイドラインなどである。

現在、「エ」国では、参加型計画策定が促進されつつあるが、M&E はそれを担保するためのプロセスであり、計画策定と同様に参加型のモニタリングが求められる。しかし、現状としては、このプロセスは発展途上である。本プロセスにかかるトレーニングが郡レベルに対し昨年 2 回実施された。

M&E は通常、開発予算・経常予算で実施される双方の事業についてなされるべきであるが、実際には、開発予算によって実施される事業へより多くの関心が払われる傾向にある。経常予算により実施される通常の事業に関しては、貧困削減へ貢献すると考えられる extension service, 水、灌漑、教育、保健セクターを中心に M&E が実施されている。

M&E の結果や、社会開発指標の計画への反映⁵²

州レベルでは、特に開発予算については、M&E の結果を活用している。基本的にそれらの結果は 4 月に提出されるので、それを次年度計画へ反映させる。他方で、社会・経済指標については、結果が古いものであるので、年次計画へ反映させるのは難しいが、中期計画へは反映させている。

4.5.2 M&E サイクル

M&E サイクルは、さまざまなモニタリングフォーマットを Bureau レベルにて準備するとこ

⁵² BoFED からの聴取による

ろから始まる（8月上旬）。そしてこの次期は、年次最終報告書の策定期と一致する。これらは県や郡を通じてケベレレベルに送付される。モニタリングフォーマットは、情報収集後、州レベルまで提出される。WoFED、ZoFEDは、下位組織からのモニタリング情報を編集する役割と義務を負う。州レベルのM&Eチームは、毎月これらの情報を編集する役割と義務を負っている。

これに続き、四半期報告が策定される。この報告は、同じサイクルで実施される現地調査によって補完される。これらは、四半期の締め日から5～10日以内に州レベルに到達し、報告書が策定されることが想定されているが、通信インフラの未整備や、郡やケベレレベルの能力不足により、現状では策定までに1カ月以上かかっている。半期、年次の進捗報告は、1月と5月に策定される。

	Activity	Duration / cycle	Monitoring and Evaluation levels, and schedules			
			Region	Zone	Woreda / Town	Kebele
1	Prepare, modify and disseminate reporting format	Jul.1 to Aug. 30	By 10 th of Aug.	By 20 th of Aug.	By 25 th of Aug.	By 30 th of Aug.
2	Prepare monthly progress report on capital, regular and program good governance package	Monthly, 1-10 days of next month	2-7 days after month-end-day	2-7 days after month-end-day	2-7 days after month-end-day	1 day after month-end-day
3	Prepare and submit plan and regular progress report	Quarterly	5-10 days after the quarter-end-day	1-5 days after the quarter-end-day	1-5 days prior to the quarter-end-day	5-10 days prior to the quarter-end-day
4	Field Monitoring	Quarterly	30 days after the quarter-end-day	30 days after the quarter-end-day	30 days after to the quarter-end-day	30 days after to the quarter-end-day
5	Biannual and annual progress report (preparation and submission) twice a year	January and May	25 th of January / May	25 th of January / May	20 th of January / May	10 th of January / May

(M&E サイクル)

報告書のサイクルは半月～年次である。郡においては、半月、月次、四半期、半年、年次報告書が策定されている。半月報告書はケベレで策定され、郡へ提出されるがこの目的は管理・監視能力の強化並びに郡への情報フローとフィードバックの強化である（郡には現地モニタリングや情報収集の機会が限られているため）。

ケベレでは各分野の開発グループとさまざまな委員会（PTA、Health、Peace and security、など）が各プログラムの進捗を半月毎にケベレ・キャビネットへ報告することになっている。報告書はケベレ・マネジャーにより編集され、郡・アドミニストレーション、WoFED、郡能力開発局とその他関連する郡組織へ提出される。WoFED やセクター局はそれを受けて報告書を編集する。

月次報告書は、ケベレ・セクター担当者、各種委員会、とその他関連機関により作成される半月

報告書を統合したものである。これらは郡・アドミニストレーションと、WoFED、関連するセクター局へ定期的に提出される。ケベレ・セクター担当者もまた月次報告書を作成し、郡・セクター局へ提出する（農業農村開発、保健、教育、その他）。保健、教育、農業・農村開発分野における情報フローはケベレレベル⁵³から郡の関連する組織へとつながっている。それぞれの監督者（supervisor）は、月次報告書を策定し、郡関連機関へ送付している。郡・セクター局は異なる部署間で報告書を共有し、計画、M&E にかかる最終的な報告書を編集し、WoFED へ提出する⁵⁴。これらの報告書は、WoFED、郡・アドミニストレーション、郡議会、能力開発局、県セクター局へ提出される。WoFED の PME はこれらの報告書を編集し、ZoFED の PME へ提出する。月次報告書の提出期限は毎月 20～25 日である。県セクター局と ZoFED は郡より提出された月次報告書を編集し、州セクター局、BoFED へ提出する。これは、毎月 25 日～30 日ごろである。月次報告書は主として、開発予算により資金拠出されたプロジェクト進捗を追跡する目的で策定されている。

それぞれの組織は同様に、四半期、半年、年次の報告書を作成し、関連する組織へ提出している。郡レベルにおいては、四半期報告書の主要な目的は、実施上の問題を特定、責任を委譲、代替の解決方法への乗り換えである。多くの四半期会議は、プロジェクト代替案のモダリティ、再配置、調整、予算の再配置にかかる結論に帰着する。半期／年次会議は、郡議会により開催され、中期、定期的な進捗モニタリング報告を審議するために行われ、主要なステークホルダー、セクター局、ケベレの代表が参加する。半期報告書と半期議会は、実施上の問題、責任の委譲にかかる解決を行う上で非常に重要である（最終的な年次の会議は次期計画を調整する 5 月に実施される）。

また、関連機関にて実施される現地モニタリング報告、四半期会議の結果などが、四半期報告書の裏付けとなる。四半期報告書と四半期会議の結果は、再配置、修正、予算修正、その他技術的・マネジメント的配慮へとつながる。

多くの郡セクター局では、人員不足に悩まされており（定員が配置されていない）結果として、モニタリング評価の業務は関連するセクター局部署のエキスパートが実施している。PME のスタッフが存在する局では、彼らは定期報告を完成させる役割を負っている。

ケベレレベルには、準エキスパートレベルの人材の配置されており、比較的良好な相互関係が調整されており、住民参加も顕著であることから、こういった環境によりセクター局は便益を受けている。農業セクターでは、各ケベレに 3 名の DA（Development Agent：農業技術普及員）が配置され、DA は開発にかかる活動、農民へのトレーニング、技術支援、計画策定、監督、M&E などを行っている。保健セクターでは、各ケベレ 2 名の health extension worker が配置されており、保健ケアシステム、啓蒙活動、母子保健、などに従事しているだけでなく、5 つのヘルスポスト（技術支援、監督を行い郡保健局へ報告を行う）の監督を行うことが想定されている。保健セクターの職員動員は比較的良好である。これは、多くの公的保健プログラムによる外部資金の供給によるものである。教育セクターでは、1 ケベレに 1 つの学校があり、3 名から 10 名の教

⁵³ DA、Health Extension Worker など

⁵⁴ しかし、セクター局は、同様の月次報告書を郡・アドミニストレーション、郡の人民代表議会、郡能力開発局、県の関連するセクター局、WoEFD、Information and public relation offices、その他数え切れないほどの組織へ提出しなければならない。

師が配置されている。1名のスーパーバイザー⁵⁵が5つの学校の中から選出されており、技術、マネジメントにかかる支援、監督、定期報告を行う責任を負う。PTAは定期的に学校、コミュニティ、ケベレ・アドミニストレーション、ケベレ・マネージャーと学校経営、計画策定、資源とコミュニティ動員、教育セクター支援に関し、協働している。このような構造は、M&Eにおいてはあまりうまく働いていないが、効果的な草の根レベルによる定期的なプログラムの監視・監督、モニタリング実施のための財政的負担、交通手段・通信手段不足の負荷を軽減している。

4.5.3 上位行政組織からの当該分野における支援 M&E サイクル

BoFEDのM&E部署のキャパシティは十分ではなく、下位組織に対する技術支援は現状困難であるが、昨年度はいくつかのトレーニング実施が報告されている。

技術的なギャップ、不十分な通信・交通状況にもかかわらず、包括的で使いやすいM&Eガイドラインの供給、参加型モニタリング・評価のトレーニングは、ケベレ、WoFED、郡・セクター一局では行われていない。

過去に実施されたトレーニングは、計画策定、予算策定、M&E、情報管理プロセスの規律にかかるもので、WoFED、ZoFEDにて実施された。しかし、ZoFED、WoFEDとも、郡やケベレに対し技術支援を行う十分なキャパシティは有していない。

実施した現地調査によると、WoFEDはM&Eの手順とモダリティ、概要、M&Eフォーマットとその内容に関するワークショップを実施し、郡・セクター局とケベレの代表が少数参加した。よって、セクター局からのWoFED技術支援に対する評価は「十分でない」というものであった。同様に、WoFEDと郡・セクター局との関連も、計画・予算策定、報告と、現地調査、情報提供に限られていた。これらは前述したとおり、コミュニケーション設備、能力、経験、人的資源、交通手段、予算などに制約があることが原因といわれている。

他方でWoFEDと郡・アドミニストレーション間の技術的支援にかかる関係は下記背景により強いものである。

- WoFEDは郡・アドミニストレーションの技術的部門であり、郡・キャビネットのメンバーであるため技術的 이슈並びに政策決定に関しより多くの責任をもつ。
- WoFEDは、計画・予算策定に責任をもち、これは、郡・アドミニストレーションと郡議会の政策手段であり、WoFEDの能力に左右される。
- 予算配分には技術的ノウハウと細心の注意が必要とされ、その分野の専門家は他セクター局ではなくWoFEDに存在する。
- 加えて、郡内のさまざまなライバル組織間の予算配分に加え、WoFEDは郡・セクター予算（これはまた郡キャビネットの決定手段であるが）の管理にかかるマンドートをもち。

いくつかの郡においては、NGOが支援を行っている。これは、ケベレ・アドミニストレーションや、セクター、ケベレ・マネージャーに対し、文房具や、事務所資材、時として運営コストを補填する資金供給などが該当する。

⁵⁵ CRC Coordinatorと同様の人物であると考えられる。

4.6 情報管理・分析にかかるプロセス

4.6.1 情報管理・分析システム

情報管理は BoFED の主要な責任とされ、この機能の目的は以下のとおり。

- 各レベルのプロファイル、地図やアトラスの作成、統計概要など管理可能かつ使用可能なフォーマットで情報を収集、分析、編成する。
- 州計画策定に使用される計画情報を提供する
- 資源分配のみならず開発ポテンシャルや制約を把握するに足る適切な情報の把握
- その他社会経済情報、リサーチ結果など

BoFED 前身の BoPED⁵⁶発足以降、the department of Physical planning and statistics が、情報管理部門として発足したが、包括的州開発計画策定にかかる必要な情報の把握範囲、把握状況ともに不十分であった。さまざまなフォーマットや、目的によって収集・編集される情報は信頼性や一貫性、適時性がなく、結果としてそれらの活用は特定の目的に限られ、計画策定全体には活用されなかった。縦横の情報ネットワークのリンケージも不十分であった。よって、BoFED、ZoFED、WoFED や各セクター局、BoFED 内の各チームにおいてもそれぞれの目的によって、独自の情報を作成していたため、情報に一貫性、信頼性はなかった。

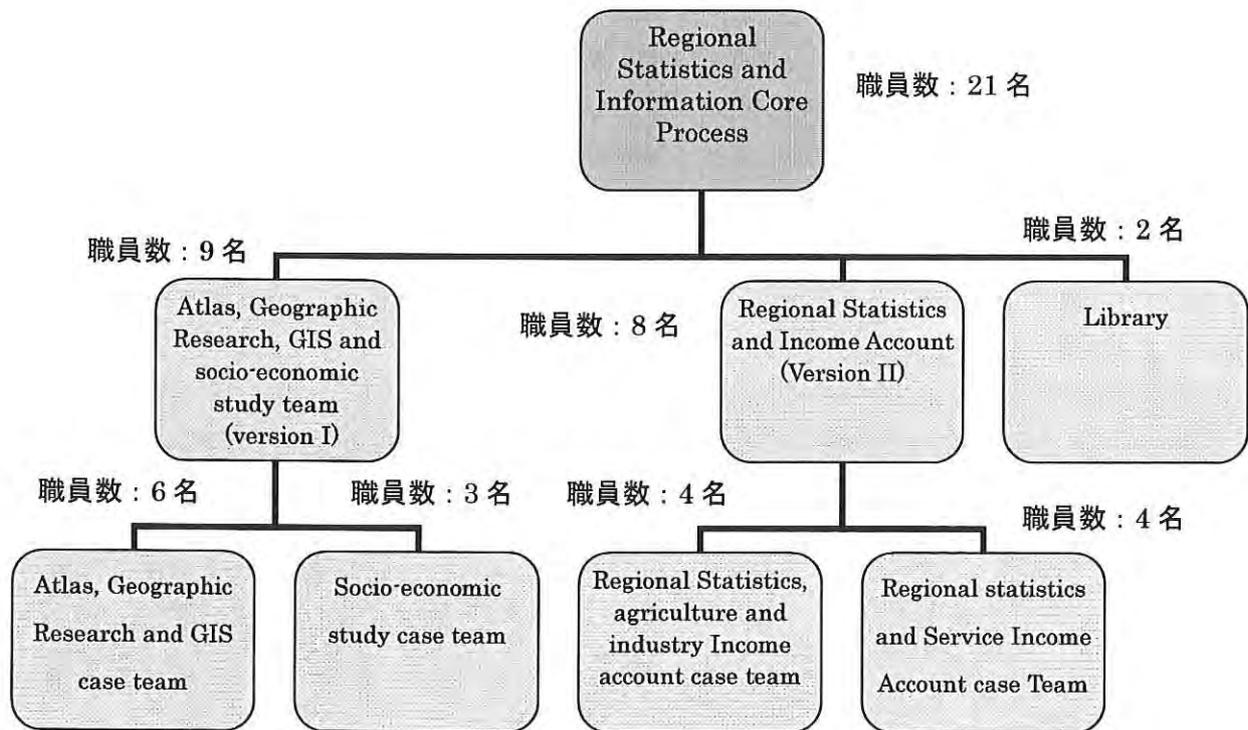
現在、州情報管理センターは、情報収集フォーマット、衛星イメージ情報の分析、航空写真の分析、セカンダリ・データの編集を行う。最終的にはそれらの情報を州・県・郡のプロファイル、地図帳（アトラス）、州統計概要、地図情報ソフトのデータ、地図などを作成、発信する役割と義務を負う。

県レベルでは、衛星イメージの解析を除き、郡単位の情報が編集される。

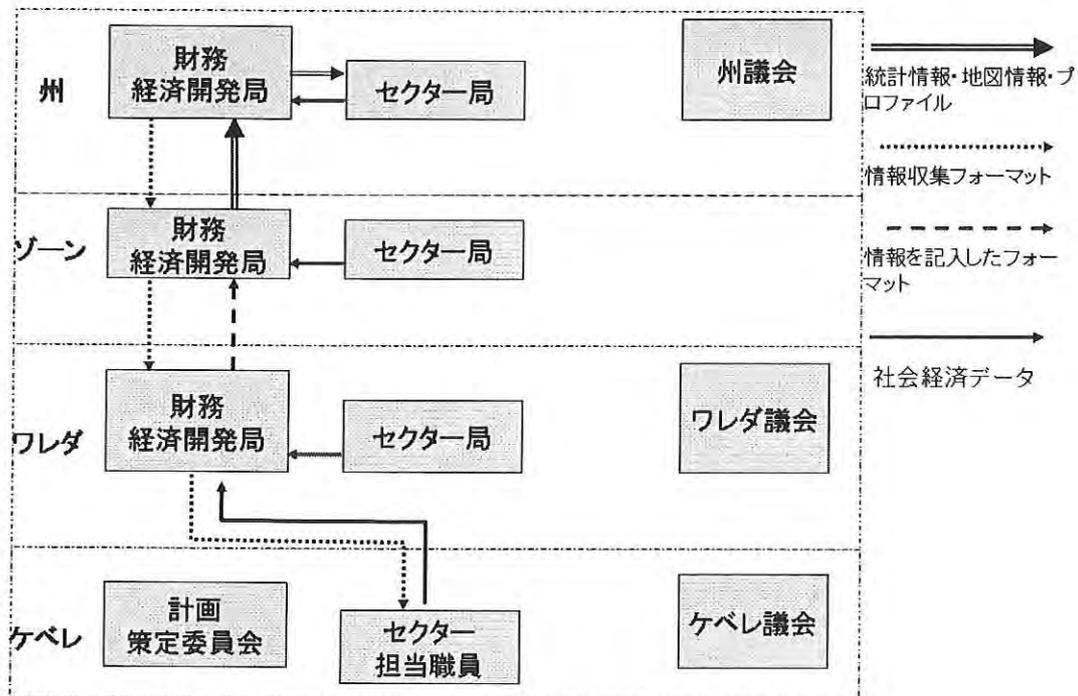
計画策定プロセスと同様に、情報フローは2つに分かれ、ひとつ目は縦のラインであり、BoFED、ZoFED、WoFED、ケベレ計画情報官のラインである。これらの情報は各レベルにおいて、横のラインから情報が蓄積される。第二は、同レベルにおけるセクター局からの情報である。最終的に BoFED はそれらを取りまとめ、セカンダリ・データ収集フォーマットと共に関連する連邦政府機関へ送付、共有する。その他利害関係者や利用者（customer）があれば、それらの情報を提供する。

現在の、オロミア州の統計・情報コアプロセスの構造は以下のとおり。

⁵⁶ Bureau of Planning and Economic Development



4.6.2 情報管理・分析プロセス



情報収集プロセスは、BoFED の情報管理センターからの情報収集フォーマットの作成と発信から始まる。これらのフォーマットは、地理的、社会経済、文化、自然資源、気候、サービスセ

クターにかかる情報を含む。これらのフォーマットは多少なりとも標準化されており、包括的である。セカンダリ・データ収集フォーマットは、ZoFEDへデータ収集に関する簡単な説明（スケジュール、提出期限を含め）が付加され送付される。

ZoFEDは、同様の手順を取り、郡へフォーマットを送付する。WoFEDは、ケベレの情報収集担当官並びに郡のセクター局へフォーマットを送付する。

次に、ケベレの情報収集担当官と郡セクター局は、必要な情報を収集して、WoFEDへ提出し、WoFEDはそれらを編集・分析し、完成したものをZoFEDへ送付する。

ZoFEDは、郡や、県セクター部署からの情報を編集・分析・整理し、統計概要・地図・プロフィール、その他を作成し、州の情報管理センターへ送付する。

州情報管理センターは県からの情報、連邦政府省庁より入手した情報と用い、より詳細に分析・編集し、最終的に、プロフィール、統計概要、地図情報などを作成する。

データ収集、編集のプロセスは非常に長く、中央集権的であり、州レベルでは、県ごとに蓄積された情報を取得・編集するので、郡レベルでの情報は直接州レベルへは到達しない。郡レベルでは、ハード面の整備不足（PC、プリンターなど）、能力不足により、十分な情報管理体制を保持しているとはいえない。

州レベルの情報管理センターは、すべての情報を保有していると主張するが、情報は電子化されておらず、データベースとしては存在しない。また、当センターは、社会経済調査等を実施する役割ももっているが、実際には、「調査」と呼べるものは実施されておらず、セカンダリ・データの編集・分析にとどまっている。以下、州レベルの情報管理センターで行われている業務とそのパフォーマンスを示す。

Main Tasks/Outputs	Frequency	Procedure	Frequency	quality
Regional, Zone, Woreda Profile	Every 5 years	Good	Every 2 years	Very high
Statistical Abstract	Every 2 years	Good	Every year	Very high
Administrative and physical maps	Every year	Good	Consistent with change	Very high
Atlases of region and limited zones	Every 10 years	Good	Every 5 years	Very high
Regional / Zonal Geography	Every 10 years	Good	Every 3 years	Very high
Regional Income Account	Every 10 years	Very Good	Every year	Very high
Various forms of data and information	Prepare in hard copy / documents		Both hard and soft copy	
Provision of data to customers	By different terms in the bureau		From only one source	
Dissemination of final documents	Only to sectors and offices at regional and zonal level		From region to woreda level and all government institutions	

ほぼすべての組織における情報収集にかかるレベルは貧弱であるが、その情報収集手段はセカンダリソース（統計概要、年次中期計画文書、M&E 報告書、デジタルマップ、調査結果その他）に大きく依存している。地図関係の情報の主たるユーザーは県セクター局、ZoFED である。一方で WoFED はケベレ並びに郡セクター局の情報に依存している。

教育セクターは最もアクティブで適切な情報システムをもっており、標準的な情報収集フォーマットは連邦教育省で作成され、州教育局を通じて各学校へ配付される。保健情報管理システムは最近導入され、これは保健にかかる施設・設備の情報を管理する上で実務的な貢献を果たしている。情報収集は、すべてのレベルにおいて、あまり重要でないと考えられており、このプロセスは、ステークホルダーや個人の要求がある場合に実施されるという傾向が強い。よって、セクター局における情報管理システムは制度化されていない。

農業・農村開発、保健、水セクターにおける情報システムは不十分である。農業セクターにおいては、情報収集を行う人員は配置されておらず、PME のスタッフが代行しているが、郡によっては、PME スタッフさえ存在しないこともある。水セクターにおいては、双方のスタッフが存在しない。

収集されたデータは統計概要や、プロフィールに編成されるが、現地調査においてはわずかな郡しか、統計概要並びにプロフィールを年次では作成していなかった。

郡やケベレでは予算不足により、情報収集のみならず、フォーマット等の複写費用にも事欠く現状である。

4.6.3 上位行政組織からの当該分野への支援

郡・ケベレに対してトレーニングが実施されている模様。ただし、最大で年間に1~2回と限られている。しかし、現地調査において、ほとんどの郡・ケベレにおいて、WoFED によって配付されているはずの、データ収集用の標準フォーマットの存在は確認できなかった。ケベレ・マネジャーと、ケベレ・セクター担当者、WoFED と郡セクター局間の技術的リンクも不十分であり、弱いものである。

4.7 人事制度

州並びに県のスタッフは基本的に州レベルでリクルートされ、給与も州より支払われる。

郡レベルは基本的には、すべてのスタッフをリクルートする責任と権限をもつが、特に professional（大卒以上）を採用するのは困難であるため、郡が州局へリクエストし、州局はその要望を受け、リクルートを行うケースが多い。（professional の雇用時には 90%以上がそれに該当する⁵⁷）。学校の教師については、すでにその権限が州へ戻されている。大学卒業生のリストは、Civil Service Commission より通知されるので、州はそれを活用している。ただし、郡レベルのスタッフの給与は郡により支払われる。

ケベレ・マネジャーやその他ケベレレベルのスタッフは郡により採用され、郡より給与が支払われる。

⁵⁷ BoFED からの情報

4.8 トレーニング

現在、BoFED で実施しているトレーニングで Planning & Budgeting に関連するものは、①budgeting (マニュアル、ガイドラインは一応存在する。しかし、現行の制度に合致しなくなっている部分もあり、今後改定が必要)、②Planning においては、Project Planning にかかるトレーニングをUNCRD(United Nations Centre for Regional Development)の支援を得て実施。③一般的な Planning guideline は存在していないため、今後策定をしていくニーズがある。よって、この分野のトレーニングはあまり実施されていない。

トレーニング実施にかかる予算は、基本的に外部資金(援助機関からの資金)を活用している(具体的には、UNICEFF, UNFPA, UNDP など)。PSCAP の予算は Budgeting のトレーニングにおいては、活用されたことはある。しかし、後述するとおり、PSCAP の予算は州予算として配分されており、BoFED のみを使用することはできず、他局との協議が必要となる。よって、予算の確保は容易ではない。

前述のとおり、現在、BoFED 内にトレーニング実施予算は自己資金では確保されておらず、完全に外部資金に依存している状態であり、トレーニングの持続的実施体制は確保されていない。

BoFED ではトレーニング実施にかかる年間計画や、複数年の計画は策定されておらず、今後の課題として認識されている。他方で、BoFED が、トレーニング予算を確保する意向があるかという点に関しては、優先度が低いのではという認識が同局のトレーニング担当者にはある模様である。

4.9 財政情報

付属資料4を参照のこと。

4.10 統計・データ (州・県、郡、ケベレレベルの統計情報)

州レベルでは、Regional Profile, Woreda Profile を策定しているが、情報は毎年更新されていない。

各セクターでは、EMIS、HMIS、WASHMIS などの情報管理システムが構築されており、以下のような情報が蓄積されている。

【EMIS により蓄積される情報】

1. Kinder Garter

- Schools Name
- Students age
- Students sex
- Religions
- Availability of Electricity
- Water availability
- Toilette service

2. Elementary School

- School Name
- Year of foundation
- Place /Woreda/Town

Grade

No of Students current year

No of students last year

Sex /Male/Female

Teachers by sex

Teachers by educational level/TTI, Diploma, BA/BSc/BED

Support staff by sex and educational level

3. Secondary School

School Name

Year of foundation

Place /Woreda/Town

Grade

No of Students current year/sex

No of students last year/sex

Owner of the School/Government/private

Grade /9, 10 11(pre, 12 Prep)

No of teachers/male / Female

【HMIS により蓄積される情報】 (Contacted person Ato Girma 0911 06 83 34)

1. Patents

Type of disease

Morbidity in OPD

Sex /male or female

Age

2. Service Delivery

Family planning acceptors

Antenatal Care

Abortion Care

Deliveries and outcomes

Early Neonatal Care

Postnatal Care

Child wealth weight monitoring

Expanded program in immunization

Disease prevention and control

Leprosy case & treatment result

TB/HIV Co infection

3. Resource

Finance

Logistics

Tracer drug days out of stock

Laboratory and blood Bank

4. Health System

Health service coverage & Utilization

Management

HMIS and M& E

【WASH-MIS により蓄積される情報】

1. Project Name

Location Zone/Woreda

Direction/East North

Type [irrigation, Drinking water]

Rural /Urban water supply

Year started/end [plan]

Contactora/consultant[study , design, construction] for specific site

Budget source

Budget amount

Performance and plan in each Quarter

Beneficiary

CSA(中央統計局)では、SSPro というソフトウェアを使用し、情報の蓄積、分析を行っている(National Statistics Data System, National Archive Data を策定)。具体的期は、House Hold Survey の情報を蓄積・管理している。

5. 他ドナーによる支援

5.1 Ethio-Italian Joint Program

2006年にデザインされた“Strengthening the Regional Development Planning in Oromia Region”

が実施される予定になっており、これは BoFED の情報センターとしての能力を強化構築することを目的としている。しかし、2009年現在までいくつかの機材調達しかなされていない。(プロジェクト対象としては、BoFED 並びに 3 県 (Jimmma, North Showa, Arsi) の中の 9 郡 (対称郡については決定されていない)。プロジェクトの具体的な目標としては、オロミア州における合理的な予算配分、既存の必要な情報を活用し開発の優先順位を設定できるようになることである。

プロジェクトの期待される成果は以下のとおり。

- 情報の管理者 (連邦並びに州政府) とユーザーを効率的に情報を発信するためにリンク付けする。
- 一貫性のある情報システムの構築と BoFED におけるより良い情報管理により手順が設定される。
- 州開発計画策定のために情報分析手法の活用が促進される
- 州レベル、パイロット県、郡において人材をトレーニングする

州レベルにおける能力開発の対象は、以下のとおり。

Physical Planning(PPD)、Development information, Regional income Account(RIA)

これらの部署は、以下の能力開発にかかるトレーニングを受けることが期待されている。

- マクロ計画策定 (短・中・長期計画策定、政策分析、プロジェクトアプレイザル、その他社会経済研究・調査にかかる能力)
- マクロ計画実施、政策分析にかかる能力

本プロジェクトは当初計画より大幅に遅延しており、資金供与プロセスは当初合意されたとおりには行われておらず、BPR 以前に計画されたプロジェクトであるため、2008年に一度プロジェクトが修正されている。

2010年1月現在、コンサルタントが傭上され、上記3県の9郡(まだ郡は特定されていない)でのトレーニング(ネットワークシステム管理、データ管理、GIS)が今後実施される予定になっている。また、車両4台、PC(デスクトップ、ラップトップ)、UPS、プリンター、ファックスなどその他オフィス家具が BoFED によって調達された (WoFED, ZoFED へ導入される)。

郡レベルのトレーニングの裨益者は現時点では不明。

5.2 PSCAP

PSCAP は 2004 年から開始されており、2009 年に終了する予定となっていたが、現在、3 年間の Additional Financing のアプレイザルが実施されている。

PSCAP が含む改革、プログラムは以下の 6 プログラムである。

- Civil Service Reform Program(CSRP)
- District Level Decentralization Program (DLDP)
- Urban Management

- Tax system Reform
- Justice System Reform
- Information and Communication Technology

PSCAP は、国家プログラムであるので、政府の予算書に予算が計上されている。この PSCAP 予算は、連邦政府予算、州政府予算の双方に予算が計上される。各州は、配分された予算内で、上記 6 国家プログラムに合致した形で、活動を計画し、実施する。

現在、BoFED は PSCAP においては、以下の業務を実施している。

- チャネル 1（国庫を通じた援助資金チャネル）の資金管理
- 月次支出報告書の統合
- 財務報告書の正確性・適時性の確保
- 州計画・プログラム理事会と一致する形での国内・国際契約への支払いの実施

本案件と大きく関連するプログラムは、CSRП 並びに、DLDP である。

なお、PSCAP 予算については、Capacity Building Bureau の管理となる。

6. 選挙にかかる情報

6.1 「エ」国の選挙制度

「エ」国連邦議会は下記二院制を取る。

- ① 人民代表議会(The House of People's Representatives : HPR)
- ② 連邦議会 (The House of Federation : HF)

人民代表議会が連邦政府の最高権威であり、立法権をすべての連邦の問題に対してもつ。人民代表議会の議員は 5 年に一度選挙にて選出される。選挙制度は、多数派優勢主義である⁵⁸。連邦の小選挙区制（1 名選出）により、選出される。連邦議会は、全体で 110 席を保有し、「諸民族」(“Nations, Nationalities and Peoples”) の代表により形成される。それぞれの「諸民族」は、少なくとも 1 名を代表として選出し、100 万人の人口ごとに 1 名が追加される。議員はそれぞれの「諸民族」議会にて選出される。

1995 年に制定された選挙法によると、連邦議会の選挙区は、郡をベースに設定される。選挙区はそれぞれ、10 万人の居住者により構成される。憲法 54 条において、「議員は、人口と少数派の諸民族により代表され、550 名を超えてはならず⁵⁹、少数派の諸民族が少なくとも 20 議席を占める。」とされている。現在、人民代表議会の議席は現在 547 議席であり、そのうち 22 議席を少数派諸民族の代表が占める⁶⁰。

⁵⁸ 地方議会（9 州、2 特別都市）の選挙は、同様に多数派優勢主義である。

⁵⁹ 人民代表議会

⁶⁰ 州議会の選挙区は、大選挙区（or 中選挙区）である。各州の選挙区に割り当てられている議席は以下のとおり。アディスアベバ（6 議席）、ティグライ（4 議席）、アファール（11 議席）、アムハラ（2 議席）、オロミア（3 議席）、ソマリ（3 議席）、ベルシャングル・グルズ（10 議席）、南部諸民族州（3 議席）、ガンベラ/ハラール（選挙区により異なる）

過去に実施された選挙は、以下のとおり。

- 1994年6月 憲法制定会議 — 憲法採択のため。憲法制定会議の議員を547名選出
- 1995年 連邦・地方選挙 — HPRの初回選挙であるとともに、州議会の初回の選挙
- 2000年 連邦・地方選挙 — HPR並びに州議会の2回目の選挙
- 2005年 連邦・地方選挙 — HPR並びに州議会の3回目の選挙

次回選挙は、2010年5月が予定されている。この選挙により、人民代表議会議員並びに州議会議員が選出される予定であるが詳細な日程はまだ不明⁶¹である。現在、国家選挙委員会（National Electoral Board of Ethiopia：NEBE）は立候補者登録の日程を調整中である。また、本年9月末には、出馬する政党が審議される予定となっている。

前回選挙で躍進した野党 CDUP 以外は、選挙へ出馬する模様。CDUP は、現在は機能していないが、他のグループメンバーが CDUP の名の下に政党として登録している。最近、新しい野党 “Forum for Democratic Dialogue：FDD” が発足、NEBE に登録を申請した。FDD は、8名の政治家をと、2名の元 EPRDF 政治家（前大統領 Negasso Gidada, 前防衛大臣 Siyee Aberha）を擁する。FDD は新しい連立政党の構成を1カ月ほどして公表すると公言している（選挙資金動員のための会合の場で）。

FDD が含むのは以下の政党。

Oromo Federalist Democratic Movement (OFDM)

Unity for Democracy and Justice(UDJ)

Arena Tigray for Democracy and Sovereignty (Arena)

Oromo National Congress (ONC)

Unity of Southern Ethiopia Democratic Forces (USED F)

2008年に改定された政党登録法により、政党は補助金を受け取ることが決定した。しかし、現在は、どのように配分されるのかは決定していない。予算は全体で149million ETBとされている。

➤ 最新の directive（案）によると、補助金の配分割合は以下のとおり。

- 10%：選挙期間中の候補者（contestants）へ等しく配分される（政党へ配分）。
- 10%：女性の政治への参加を促進するための資金（女性候補者の数によって配分）
- 55%：国会議員の座席数に比例し、政党へ配分される。
- 25%：立候補者の数に比例し、政党へ配分される。

この詳細については野党の承認は得られていない。

⁶¹ 2009年10月に仮の選挙スケジュールが発表され、11月に承認された。

7. JICA 協力の方向性・範囲の検討

本案件にかかる協力準備調査によって、協力対象となる郡レベルの計画・予算策定プロセスは明確になり、州が果たす役割が重要であることが分かった。しかし、プロセスを概観するだけでは現れない課題として、地方における人・組織のキャパシティ不足、計画策定プロセスを補完する機能不足、郡レベルへの財政移管に伴う計画策定プロセス変革に対する各機関の対応不足が挙げられる。州においても、郡レベルの計画・予算策定時に、活用すべき客観的情報（社会・経済開発指標など）の蓄積・発信能力は不十分であり、郡の計画・予算策定を下支えする体制が整っているとは言い難い。このような状況において、計画・予算策定の中心となる州の財務経済計画局に対して、郡レベルの計画・予算策定のためのガイドライン・マニュアル及び情報収集・分析フォーマットを整備し、それを活用するための郡行政官向けの研修実施を支援することは、大幅な郡への財政移管を進めている「エ」国のセクター横断的な行政サービスの効果を高めるために非常に意義が高いと判断される。

以下、現時点での案件概要を示す。

(1) 事業の目的

オロミア州において、計画・予算策定の制度、仕組みが郡（郡）並びに州レベルにおいて改善する。

(2) プロジェクトサイト／対象地域名

オロミア州（対象者：オロミア州〔郡、県、州レベル全てを含む〕計画・予算策定に携わる行政官 13,500 名程度、なお、間接的に裨益する同州住民は 28,591,297 名）

(3) 事業概要

1) プロジェクト目標

郡の財務経済開発局並びに、各セクター局において、現状と利用可能な資源を踏まえた戦略的な開発計画を策定する能力が向上する。

2) 成果と想定される活動

（成果）

1. 州レベルにおいて、郡レベルの公式な計画・予算策定ガイドライン（現在存在する計画・予算策定時に使用されるフォーマットを含む）が策定される。
2. 州レベルにおいて、郡レベルでの計画・予算策定に必要な情報が特定され、特定された情報を郡に供給する仕組み（情報発信フォーマットを含め）が整う。
3. 郡レベルでの計画・予算策定において、上記 1 のガイドライン及び上記 2 の情報を活用するために必要な能力が向上する。
4. 州レベルにおいて、上記 3 に資する持続的な研修及び普及体制が整備される。

（活動）

- 1-1 既存の計画・予算策定ガイドライン／マニュアル／フォーマットのレビュー
- 1-2 公式（郡）計画策定ガイドライン・マニュアル（案）の策定
- 1-3 郡レベルへの研修を踏まえた公式（郡）計画策定ガイドライン・マニュアル（案）の改訂
- 2-1 州レベルにおいて、公式（郡）計画策定ガイドライン・マニュアルに添った形で郡レベルでの計画策定に必要な情報の特定

- 2-2 特定した情報の収集のためのフォーマット作成、それら情報を蓄積・分析・発信するシステム構築
- 3-1 郡レベルの計画・予算策定にかかるキャパシティ診断及び研修ニーズの明確化
- 3-2 州レベルにおける郡への計画・予算策定及びそのための情報収集・分析にかかる研修の実施
- 4-1 州レベルにおいて、郡レベルの計画・予算策定ガイドライン／マニュアル及び情報フォーマット普及のための計画及び体制の整備
- 4-2 州レベルにおいて、郡行政官向け研修を持続的に実施する体制の整備

3) 投入の概要

長期専門家 3 名（地方行政、研修管理、業務調整）

短期専門家 5 名（情報管理、公共行政、地方行政計画、参加型開発等）

資機材供与：PC、車両など必要な機材 / 研修員受け入れ：2～3 名／年

(4) 総事業費／概算協力額：2.9 億円

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）：2010 年 6 月～2013 年 5 月（3 年間）

(6) 事業実施体制（実施機関／カウンターパート）

カウンターパート：オロミア州財務経済開発局

(Oromia Bureau of Finance and Economic Development)

5 項目における検討結果は以下のとおり。

- (1) 妥当性：本協力は、相手国政策と合致しており、また、わが国の援助政策とも合致している。「エ」国は地方分権化を推進しているが、地方分権化が急速に行われたこともあり、郡レベルの能力が十分ではないなかで郡レベルへの権限委譲が行われており、郡レベルに期待される「機能」が効率的・効果的に働くようになるためには、州・郡へのインターベンションは重要である。
- (2) 有効性：本案件の実施は、地方行政の戦略化・効率化、地方行政の透明性向上・民主的運営につながり、更なる分権化の推進をめざすものであり、有効性は高い。
- (3) 効率性：わが国支援と他ドナーによる各種援助（財政支援、能力開発）が相互補完的に行われることで、効率性が高くなることが想定される。
- (4) インパクト：上述効率性ととともに、他ドナーとの連携により、オロミア州内での取り組み、並びに州での取り組みの連邦レベルへの反映など、より大きなインパクトが期待される。
- (5) 自立発展性：2002 年以降の郡への財政移管を受けて財政支援型援助が実施され、地方交付金として継続的に拠出されることで、本案件で強化された計画・予算策定能力の実践を通じた継続的な向上が想定される。
- (6) 実現可能性：C/P 機関であるオロミア州財務経済開発局はモチベーションが高く、また、特に郡レベルでの計画・予算策定能力並びに情報管理・分析能力の向上の必要性は強く認識されているため、実現可能性は高いといえる。また、PBS 等により、郡の財政基盤を強固にする支援が入ると、本件による行財政能力向上との相乗効果により、地方行政サービスそのものの向上に結びつくことが期待できることから、実現可能性はさらに高まる。

留意点としては、本案件実施にかかる具体的な実施体制、日本の投入イメージ、活動スケジュール、成果発現にかかる前提条件などについて、なお詳細に検討される必要があるため、案件採択後に改めて詳細計画策定調査を実施する（2010年2月～3月を予定）。

以上

ゾーン、ワレダ、ケベレの権限と義務

Oromia Regional State Revised Constitution Proclamation No. 46 of 2001
(With its Amendments Proclamation No. 94/2005 and No. 108/2006)

Chapter 4

Article 46

Organs of the Regional State

Executive power	Legislative Power	Judicial Power
Administrative Council	Caffee	Court

Chapter 8

Article 70

Zone shall led by;
Administrator,
Deputy administrator

Executive organs

Zonal Administration

established below the Regional Administrative Council,
Accountable to the President of the Region and the Administrative Council

Powers and duties

- (a) coordinate the activities of the districts of the zones
- (b) support, follow up and coordinate the activities of the various Government institutions and department of the Zone;
- (c) support and coordinate social and economic institutions established to give services to more than one district;
- (d) study the zonal social services and economic development and submit it to the President and upon approval implement same;
- (e) ensure the proper protection and preservation of the historical and cultural heritage as well as the natural resources of the Zone;
- (f) submit periodic reports on the activities of the Zonal Administration to the President through its Administrator;
- (g) Ensure that law and order is maintained and peace and security of the people is

protected in the Zone,

- (h) Ensure the proper implementation of policies, proclamations, regulations, directives and decisions made by the 'Caffee' and the Regional Administrative Council;
- (i) Discharge other functions assigned to it by the President and the Regional Administrative Council;

Appointment and Term of Office of Zonal Administrator

- 1) Administrator of a Zone shall be appointed by the Regional Administrative Council upon the recommendation of the President;
- 2) Unless otherwise provided, the term of office of the Chief Administrator of the Zone shall be the term of office of the President.

Powers and Duties of Zonal Administrator

- 1) The administrator of the Zone shall direct the administration of the Zone and be accountable to the President
- 2) Duties;
 - (a) Administer the Zone representing the President
 - (b) Follow, coordinate, receive report and support the activities of the various government departments and institutions in the Zone;
 - (c) Direct and oversee the security
 - (d) Coordinate the functions of other administrative organs working in the Zone;
 - (e) Submit periodic reports on government functions in the Zone to the President and the Regional Administrative Council;
 - (f) Discharge other functions assigned to him by the President and the Regional Administrative Council

Article 83

Office of the District Council

The District council may have its own Office

District Administrative Council

- 1) District Administrative Council shall be the executive organ of the district and is accountable to the Administrator and District Council
- 2) District Administrative Council comprises the District Administrator, Deputy Administrator and also the Head, of the main sectoral executive offices found in the District

Powers and Duties of District Administrative Council

- 1) District Administrative Council shall have the powers and duties to:
 - (a) Implement policies, laws, directives, plans and programs of the State in the District;

- (b) Coordinate, supervise and lead activities of executive organs found in the District;
- (c) Prepare annual budget draft and submit it to the District Council, implement same upon approval;
- (d) Maintain peace and security in the district and direct the district police and security force as well as coordinate their function;
- (e) Prepare plans for social services, economic development and administration and submit same to the District Council for approval;
- (f) Protect, preserve and develop the natural resource; mobilize the populace for development activities;

Article 92

Powers and Duties of Kebele Council

- 1) Implement plans and directives adopted by District Council and District Administrative Council.
- 2) Issue directives and implement the same;
- 3) Appoint Kebele Administrator from among the Kebele Council members; organize Kebele Administrative Council.
- 4) Upon submission by the Kebele Administrator, approve the appointment of Kebele Deputy Administrator and Social Court Judges.
- 5) Based on socio-economic development and administrative plans and programs, formulate programs of action for its proper implementation and oversee it,
- 6) Initiate any other programs that may benefit residents of the Kebele, and supervise its implementation.
- 7) Mobilize the populace for development activities; supervise the proper development and protection of natural resources.
- 8) Ensure the maintenance of law and order in the Kebele

Speaker and Deputy Speaker of Kebele Council

- 1) Kebele Council shall be presided over by Speaker and Deputy Speaker appointed by the Kebele Council upon nomination by a political party or a coalition of political parties that have the majority vote.
- 2) The speaker shall preside over the Council; prepare agendas and ensure the proper handling of minutes and documents.
- 3) The Deputy Speaker shall carry out responsibilities, which shall be specifically entrusted to him by the Speaker; act on behalf of the Speaker in his absence.

Oromiya National Regional State in Brief Part III

BoFED, RSIC

July, 2008

1. General Background Of Oromiya

1.1. Location

- ✚ Astronomically, Oromiya extends from:
 - 3°24'20" North to 10°23'26" North latitudes (extending for about 7° north to south and
 - 34°07'37" East to 42°58'51" East longitudes (extending for about 9° west to east),
- ✚ Located in tropical zone,
- ✚ But, latitudinal extension and altitudinal variation significantly influence its tropical climatic characteristics.

1.2. Area

- ✚ Oromiya is one of the 9 national regional states of Ethiopia,
- ✚ Its estimated area is about 363,136km², accounting for about 34.3% of the country's total area. Oromiya is the largest National Regional State in Ethiopia in terms of population size and areal coverage (see table1).

Table 1. Comparative Size Of Oromiya National Regional State

National Regional State	Population Size (July,1,2008	Area km ²
Tigray	4,5655,000	50,078.64
Afar	1,449,000	77,000
Amhara	20,136,000	159,173.66
Oromiya	28,067,000*	363,136
Somali	4,560,000	215,900
Benishangul	656,000	49,289.46
SNNPSE	15,745,000	112,343.19
Gambela	259,000	25,802.01
Harari	209,000	311.25
Addis Ababa City Administration	3,147,000	530.14
D.Dawa Administrative Council	428,000	1,213.20
Total	79,221,000	1,059,149.55

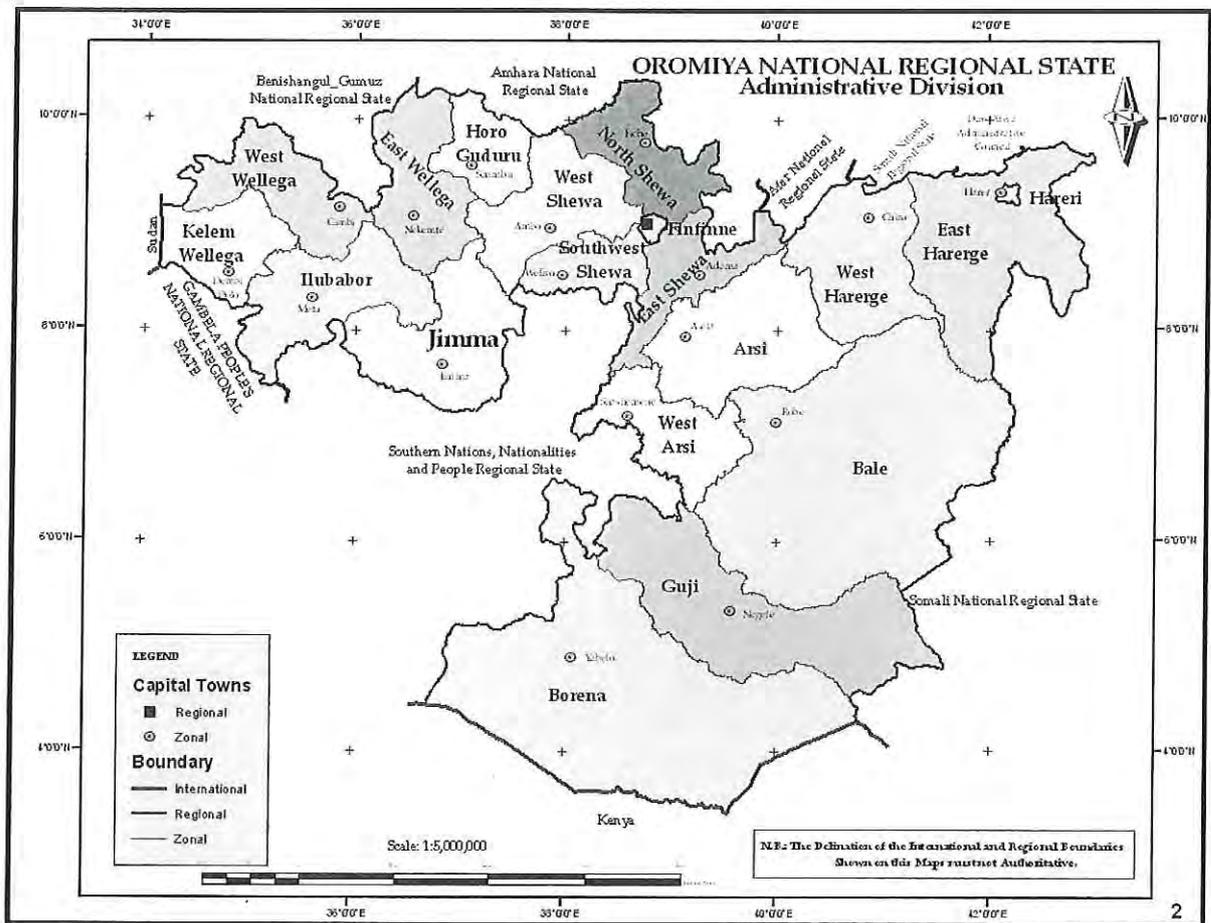
Source: CSA, Statistical Abstract, 2007 and UNCRD, Text Book Series No.6, 2006

* = excluding population of Chinaksen & Dawe Serer districts

- ✚ The National Regional State of Oromiya is larger than some of the African countries, Germany, Italy, U.K., France, Spain, etc,
- ✚ It is classified into 17 zones, 301 districts (262 rural districts and 39 urban centers under reform) and more than 6630 Peasant and Urban Dwellers Associations/Gandas (see the table below).

Table2. Administrative Divisions of Oromiya

Zones	No. of weredas		No. of PAs 2006/07	Population size, July, 1,2008	Area (km ²)	Remark
	Rural	Urban Reform				
Arsi	24	2	501	2850498	21009	
Bale	18	2	366	1348235	63555	
Borena	13	1	185	964391	63939	largest
E.Harerge	18	3	518	2892805	26308	
East Shewa	11	7	328	1795560	10241	
East Wellega	17	1	264	1313196	14103	
Guji	13	2	313	1167605	33290	
Horro Guduru	9	1	173	624372	7869	
Ilubabor	22	2	472	1397545	16884	
Jimma	17	2	528	2936631	18696	
Kelem Wellega	10	1	247	857546	10488	
North Shewa	16	4	321	1887161	11377	
S.W.Shewa	12	2	307	1214816	6726	smallest
W.Harerge	13	2	381	1812659	17779	
West Arsi	11	2	295	1810136	12556	
West Shewa	19	3	556	2252110	15185	
West Wellega	19	2	495	1466038	13131	
Total	262	39	6250	28591304	363136	



1.3. Shape and Position

Oromiya National Regional State extends over large geographic area.

- ✚ It has elongated shape, extending from the Kenyan border in the south to the south east,
- ✚ Across central Ethiopia and to the Sudan border in the West.
- ✚ It has a total border length of about 5700km (about 600km international borderlines with Kenya (521km) and Sudan (66km), and about 5100km with National Regional States (1860km with SNNPSE, 1410km with Somali N.R.S., 706km with Amhara N.R.S., 690km with Benishangul, 255km with Gambela N.R.S. and 164 with Afar N.R.S.).

The Region occupies central position of the country. Oromiya:

- ✚ shares common boundaries with all national regional states except the National Regional State of Tigray (see fig.1),
- ✚ characterized by diverse relief features, and
- ✚ it is a Region of great geographic diversity with altitudinal ranges extending from less than 500m to over 4300m above sea level.

1.4. Relief Features

Oromiya is a region of great physiographic diversity, having

- ✚ Mountain ranges and massifs that culminate into Mt.Tullu Dimtu (Bale zone), i.e., the highest peak of the Region with 4377masl,
- ✚ Plateaus, gorges and river valleys,
- ✚ Rolling plains-are generally found in the Region,

- ✚ About 49% of the Region's land surface is above 1500masl (i.e. Highlands),
- ✚ The lowlands and Rift Valley systems account for the remaining 51% of the Region's total land surface.

1.5. Climatic Condition

Oromiya National Regional State has diverse climatic condition, determined mainly by two important climatic elements, viz, latitude and longitude.

- ✚ Latitude- the Region falls latitudinally in the tropical zone. However, its tropical climate is affected by its altitude.
- ✚ Altitude affects distribution of temperature, rainfall, vegetation type etc.

1.5.1. Rainfall

Average annual rainfall of the Region varies from:

- ✚ 400mm in parts of Borena in Southern Oromiya to over 2400mm in parts of Ilubabor Zone or over its Western Highlands.
- ✚ The Region has Summer, Autumn, Winter and Spring seasons.

1.5.2. Temperature

The temperature of the Region varies:

- ✚ from 7.5⁰c to over 22⁰c in the Highlands and
- ✚ from 22⁰c to over 30⁰c in the lowlands.
- ✚ Oromiya experiences over head sun twice a year.
- ✚ In general, average annual temperature ranges from less than 7.5°C to greater than 27.5°C in the Region.

2. Natural Resource Base & Development Potential

2.1. Natural Resource Base

- ✦ Oromiya has huge natural resource base and development potentials. They are:
 - Large population size,
 - Large arable land/large agricultural resource base,
 - huge surface water resources,
 - energy resources,
 - mineral resources,
 - wildlife resources,
 - tourism resources and
 - historical and cultural resources.

2.2. Development Potential

2.2.1. Agricultural Resource

- ✦ Oromiya's fertile soils, diverse geographical setting and varied agro-climatic zones make it suitable for the cultivation of different food and cash crops,
- ✦ The Region has Tropical (50.7%), Sub-tropical (41.5%), Temperate (7.3% and Wurch (0.5%) agro-climatic zones,
- ✦ Has four growing seasons, namely Summer, Autumn, Winter & Spring (Summer and Winter are the major ones) and
- ✦ Has large cultivated area (about 28.4% of its total area), large natural forest (8.5%), wood, shrub, bush, grassland, and plantation cover (about 59.7% of its total area) and swamp, water courses, rocks and urban centers (about 2.9% of its total area).

- ✚ The region's huge agricultural resources indicate the potential for agro-industrial development.

2.2.2. Forest Resources

- ✚ Ethiopia's remaining meager forest resource is mainly found in Oromiya,
- ✚ The Region's estimated high forest cover is about 8.1 percent, while plantation and woodland, shrub land, bush land, grassland and Afro-Alpine cover accounted for 2.67, 12.59, 10.6, 33.87 and 0.4% respectively,
- ✚ Forest resource is rapidly depleting nowadays, due to mainly rapid expansion of farm land or conversion of forest area into farm land, development projects, increasing demands of construction materials and fire wood, etc.

2.2.3. Water Resources

- ✚ Oromiya has abundant water resource potential, about 58 billion cubic meter,
- ✚ The highest rainfall (2400mm/annum) is in this regional state,
- ✚ The region has 8 major river basins, about 68 major rivers and 688 tributaries that drain into the Indian Ocean, Blue Nile and Inland drainage systems/lakes region and
- ✚ The Region has 12 major lakes (covering an area of 3135km²), of which some of them are currently used for small scale fish production.

2.2.4. Irrigation Potential

- ✚ Oromiya's Agriculture is rain-fed and subsistence,

- ✚ The Region has an estimated potentially irrigable land of 1.7 million hectares, of which a maximum of 3% is currently exploited,
- ✚ Irrigation development is a priority attention of the Regional State Government in order to ensure food security.

2.2.5. *ENERGY RESOURCES*

Oromiya region has large energy potential endowment, which includes

- Hydropower,
- Solar energy - virtue of being in the tropical zone,
- Wind energy,
- Geothermal energy - Rift valley region and
- Biogas energy.

2.2.6. *Hydropower*

- ✚ Oromiya is the largest contributor to Ethiopia's immense hydropower potential,
- ✚ Oromiya's estimated share in this gross potential is more than 77%,
- ✚ More than 97% of the current hydropower generation in the country is from Oromiya National Regional State,
- ✚ In general despite the potential, the largest proportion of Oromiya's present energy consumption is from traditional sources (fuel wood, cow dung, charcoal, etc),
- ✚ About 90% of the total populations have no access to modern energy sources in the Region.

2.2.7. *MINERAL RESOURCES*

- ✚ There is limited knowledge about what is existing beneath the surface of the region,

- ✚ From current assessments, Oromiya's mineral resource potential is immense,
- ✚ There are:
 - Precious metallic deposits,
 - Gold (in Borena and West Wellega),
 - Platinum and Copper (in West Wellega),
 - Iron deposit (in West Wellega, Bale and Illubabor),
 - Tantalum and Nickel (in Borena zone),
 - Kaolin (in Borena and East Harerge), etc
- ✚ Abundant non metallic minerals like:
 - Feldspar (in Borena and West Wellega),
 - Quartz (in Borena),
 - Marble (in West Harerge),
 - Limestone and silica (in West Shewa),
 - Soda ash (in East Shewa),
 - Oil shale and coal deposits (in Jimma and West Wellega), etc.

2.2.8. Wildlife Resources

Due to its diversified relief features, Oromiya:

- ✚ Is favorable habitat for quite a large variety of fauna and flora,
- ✚ Represents the whole range of African wildlife resource,
- ✚ Has large wildlife resources-Lion, Mt, Nyala, Red fox, Leopard, Flamingos, Swayne, Colobus Monkey, Spotted Hyena, etc
- ✚ But nowadays, there is rapid decrease in both types as well as in the number of wild species due to uncontrolled and indiscriminate hunting and serious destruction of forests.

2.2.9. Tourism

Oromiya is widely endowed with plenty of natural, historical and cultural resources. It

- ✚ has plenty of natural tourist attraction resources like:
 - peaks (Tullu Dimtu, Malgudo, Yerer, Asebot, Ziquala, etc), rivers (Awash, Wabe Shebele, Dedessa, Sor, etc),
 - hot springs (Bokku, Gergadi, Ambo, Waliso resort, etc) and waterfalls (Bareda and Anger, Sor, Darba/Gur, etc),
 - dense forests (about 20 demarcated and 29 not demarcated forests),
 - caves (Sof Umar, Achare & Aynage, etc) and valleys (Dakata, Mugar, etc), lakes, etc,
- ✚ has different species of mammals (Mountain Nyala, Lion, Oryx, Swayne, Baboon, Menelik's bushbuck, Leopard, Colobus Monkey, Elephant, etc) and
- ✚ has plenty of diversified cultural factors - irrecha ceremony, Dirre Sheik Hussein, Gada system, Churches (Qulibi Gabrel, Adadi Mariyam, Debre Libanos, etc), Mosque, and several historical sites (Melka Kunture, Debre Tsion Mariyam, Palace of Abba Jifar & Kumsa Moreda, etc).
- ✚ However, these resources are by and large underdeveloped and not properly exploited so far.

3. Population

3.1. Population Size

In 2000 E.C (July 1, 2008), Oromiya Region had about 28,591,300 populations, according to 1994 population and housing census result.

- ✚ About equal female and male proportion (50%),

- ✚ The most populous regional state in Ethiopia, accounting for more than 1/3rd of the country's total population,
- ✚ About 88% live in rural areas and 12% live in urban areas,
- ✚ About 46.6% of the population is under 15 years (47.3% males and 45.8% females), 49.9% ranging between 15-64 years (48.9% males and 51.1 females) and 3.5% above 65 years (3.8% males and 3.1% females).

4. Economy

4.1. Agriculture

- Agriculture is the mainstay of the Regional State from which about 89% of the population earn their living,
- The economy is a small scale peasant holder farming type which accounts for about 98% of the total agricultural production in the regional state,
- The largest proportion of the regional GDP is accounted for by agriculture 66.7%, followed by services (21.2%) and industry (12.1%),
- For the years 1999/00 to 2005/06, average annual growth rates of agriculture, industry and service were respectively 7.7, 3.5 and 5.6%,
- From 2003/04 to 2005/06 (three consecutive years), average annual growth of agriculture, industry and service sectors were 18.4, 3.5 and 8.3% respectively.

4.1.1. Crop Production

- ✚ The Region's total cereals, pulses, oilseeds, vegetables and root crops production account for about 50.8, 37.1, 43.7, 42.5 and

36.7% of the country's total cereals, pulses, oilseeds, vegetables and root crops production respectively (Agricultural Sample Enumeration, 2001/02). The total production share was about 47.8%, which is of course much higher than its relative share in area and population size,

- ↓ In 2001/02 cultivated area under cereals, pulses, oilseeds, vegetables and root crops = 3,532,670 hectares (44.2% of the country's total cultivated land), production of these crops = 54,338,050 quintals (47.8% of the country's total production).
- ↓ Similarly, according to Agricultural Sample Survey result of 2004/05, the Region's total cultivated land and production share were 46.6 and 52.3% of the country's total cultivated land and production respectively.

Estimated Area and Production of Grain Crops for 2003/04 and 2004/05, Meher Season

Region	Area in hectares			Production in quintals				
	2003/04 (1996 E.C)	Region share (%)	2004/05 (1997 E.C)	Region share (%)	2003/04 (1996 E.C)	Region share (%)	2004/05 (1997 E.C)	Region share (%)
Tigray	592156	6.8	674551	6.9	6530625	6.3	6316303	5.3
Afar	13247	0.2	12311	0.1	262048	0.2	167503	0.14
Amhara	3168181	36.5	3374253	34.4	33801387	32.6	37623470	31.6
Oromiya	3808081	43.9	4574889	46.6	50865974	49.1	62321656	52.3
Somali	70501	0.8	72130	0.7	563854	0.5	446486	0.4
Be.Sangul Gumuz	147151	1.7	166285	1.7	1522008	1.5	1698970	1.4
S.N.N.P.R.	822470	9.5	913209	9.3	9606248	9.3	10271639	8.6
Gmbela	9707	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Harari	7638	0.1	7594	0.1	65862	0.1	45689	0.04
Addis Ababa	22979	0.3	8211	0.1	266705	0.3	126179	0.11
Dire Dawa	7184	0.1	7638	0.1	79419	0.1	50206	0.04
Total	8669295	100.0	9838763	100.0	103564132	100.0	119343715	100.0

Source: CSA, Agricultural Sample Survey, 2004/05

- ✚ It is suitable for the cultivation of variety crops such as;
 - I. **Cereals**-wheat, barely, maize, sorghum, millet, teff, etc,
 - II. **Pulses**-horse beans, field peas, chick peas, lentils, etc,
 - III. **Oil seeds**-safflowers, sesame, linseed, groundnuts, neug, etc,
 - IV. **Fruits and vegetables**- lettuce, head cabbage, tomatoes, etc,
 - V. **Beverage crops**-coffee, tea, etc,
 - VI. **Industrial/commercial crops**-cotton, malt barley, sugar cane, sisal, tobacco, highland grape, flowers, spices, etc and
 - VII. **Root crops** such as sweet potatoes, carrot, onion, garlic, beetroot, taro, etc.

In general, according to the mentioned Agricultural Sample Enumeration out put, in the mentioned year, about 82.1, 10.2, 5.3, 1.1, 0.9 and 0.4% of the cultivated lands were put respectively under cereals, pulses, oilseeds, root crops, vegetables and others. Similarly, about 52.1, 40.0, 4.7, 3.0 and 0.2% of the cultivated lands under permanent crops were covered by coffee, chat and enset (20% each), fruits, hops/gesho and sugar cane (1.5% each) and others respectively.

4.1.2. Livestock Population

- ✚ A significant proportion of the country's livestock is found in Oromiya.
- ✚ According to 2007/1999 E.C, CSA statistical data (CSA, Statistical Abstract, 2007), Oromiya had about 41% of the country's total livestock population (excluding nomadic areas and urban holdings).
- ✚ In the mentioned year, Oromiya had about 19.7 million cattle, 9.3 million sheep. 5.9 million goats, 1.05 million horses, 161,000 mules,

2.1 million donkeys and 131.000 camels, 13 million poultry and 3.0 million beehives (excluding nomadic areas and urban holdings).

- ✚ Despite the potential, there are problems of low productivity, widespread animal diseases, poor feeding system, traditional husbandry practices, etc.

4.1.3. Veterinary Service

In 2007/08 (2000E.C), Oromiya National Regional State had:

- ✚ 291 veterinary clinics,
- ✚ 715 health posts,
- ✚ 61 Veterinary doctors,
- ✚ 144 animal health assistants,
- ✚ 363 technicians,
- ✚ 82 assistant technicians,
- ✚ 108 vaccinators,
- ✚ 715 vaccination centers
- ✚ 43 meat inspectors,
- ✚ Farmers Training Center 2980 and
- ✚ Development Agents 17327

4.2. Industry

Regional Industrial development is at its infancy stage.

- ✚ Its employment contribution is less than 1% of the Regional total population,
- ✚ Concentrated in central part of Oromiya, mainly in major towns like Adama, Bishoftu, Mojo, etc,
- ✚ Dominated by light industries such as food and beverage processing factories (45.4%) textiles (16.6%), furniture & wood (12.6%), metal & metal products (15%) and others (10.4),

- ✚ There were 210 large and medium scale manufacturing industries (government, public and privately owned) in 2005/06, which created job opportunities for more than 49,000 people.

4.2.1 Regional Industrial Contribution to Ethiopia's National Economy:

- ✚ Oromiya has the largest industrial contribution to Ethiopia's economy,
- ✚ An estimated of 60% in foreign exchange earning,
- ✚ The Region accounts for about 40% of the country's GDP,
- ✚ It took about 12.1% of the total Regional GDP,
- ✚ The largest proportion of Ethiopia's export commodities emanate from Oromiya. To mention some:
 - Coffee, Oilseeds, Leather products, Fruits and Vegetables, flower, Gold, etc and
 - Industries of the region account for about 27% of the country's total manufacturing industries.

5. Social Facilities

5.1. Education. As the data obtained from Oromiya Education Bureau indicate, in 2008, Oromiya had (only government's):

- Primary school (1-8)= 9450, having 80327 sections,
- Secondary and preparatory school = 364, having 6137 sections,
- 53 technical and vocational training institutions, having 24,743 enrolled students and 1,445 teachers,
- 5 universities and one College,
- One Veterinary College and
- 7 Teacher Training Colleges.

✚ **In 2008, enrolled students were:**

- Grade1-8, 5,623,413,
- Gross enrollment ratio 94.9%
- Net enrollment ratio 76%
- Grade 9-12, 484005 students,
- Gross enrollment ratio 19.3%
- Net enrollment ratio 16%

✚ **Number of Teachers in 2008 were:**

- Grade1-8, 104,451,
- Grade 9-12, 9,687.

5.2. Potable Water Supply - In 2008 (2000 E.C), there were 810 wells and 86 protected springs in the Region. In 2008 (2000 E.C), total potable water supply coverage was 54.96% (48.8 in rural areas and 92.7% in urban areas).

5.3. Telecommunication-according to 2004/05 statistical data, Oromiya has:

- Manual= 8 exchanges with exchange capacity of 250 & subscriber lines of 100,
- Automatic digital = 112 " " " " 175,523 "
" " 114,197,
- Semi-automatic= 111 " " " " 7,066 "
" " 3,094,
- Pay station = 132 and
- RRC= 1.

5.4. Roads - according to 2006 statistical data, Oromiya had:

- Asphalt road=2,339 km,
- Gravel road =1,979 km and
- Rural road =8126 km,

5.5. Postal Service - in 2004/05, Oromiya had 52 Permanent Post Offices and 222 Regular Agents.

5.6. Health

According to 2008 statistical data, Oromiya had:

- ✚ 22 government hospitals,
- ✚ 308 government health centers,
- ✚ 642 governments clinics,
- ✚ 2394 health posts,
- ✚ 267 doctors (only under government owned institutions),
- ✚ 384 health officers (only under government owned institutions),
- ✚ 7039 nurses (only under government owned institutions),
- ✚ 443 laboratory technician
- ✚ 23 x-ray technician,
- ✚ 216 Pharmacists (only under government owned institutions in 2006),
- ✚ 346 Sanitarians (only under government owned institutions in 2006),
- ✚ 110 frontline health workers in 2006,
- ✚ 1540 health assistants (only under government owned institutions in 2006),
- ✚ 2035 health extension workers in 2006 and
- ✚ 276 malaria workers in 2006.
- ✚ People living in the malaria infested area in 2008 (2000 E.E)-
18,924,085

The general Regional health service coverage is 82% in 2008.

Regional Proclamation No. 132/2007

Proclamation No. 87/2005 Article 20 is amended as follows.

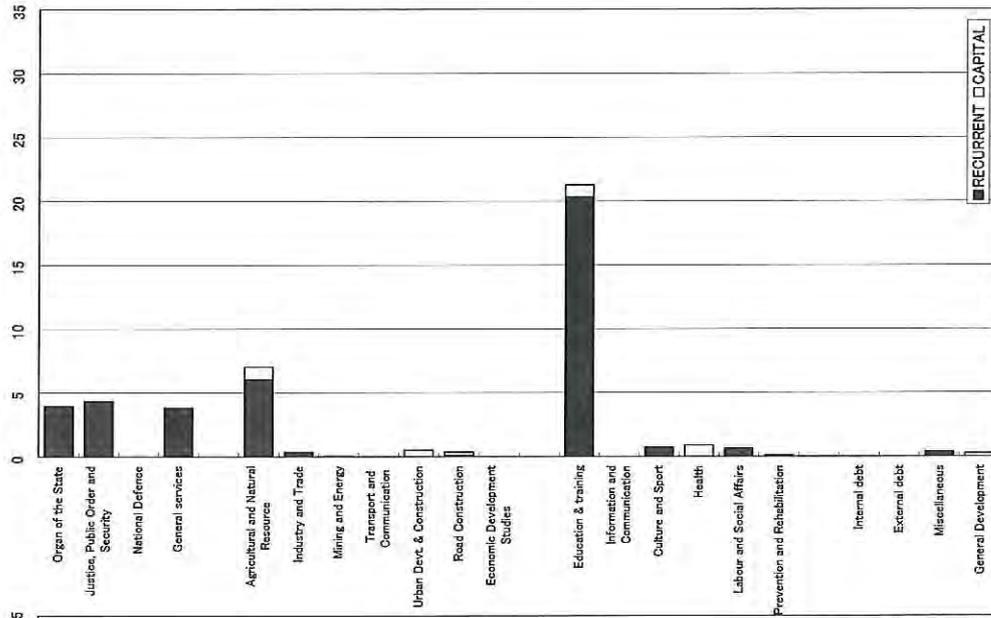
“20. Powers and duties of Finance and Economic Development Bureau”

The Bureau shall have the following powers and duties

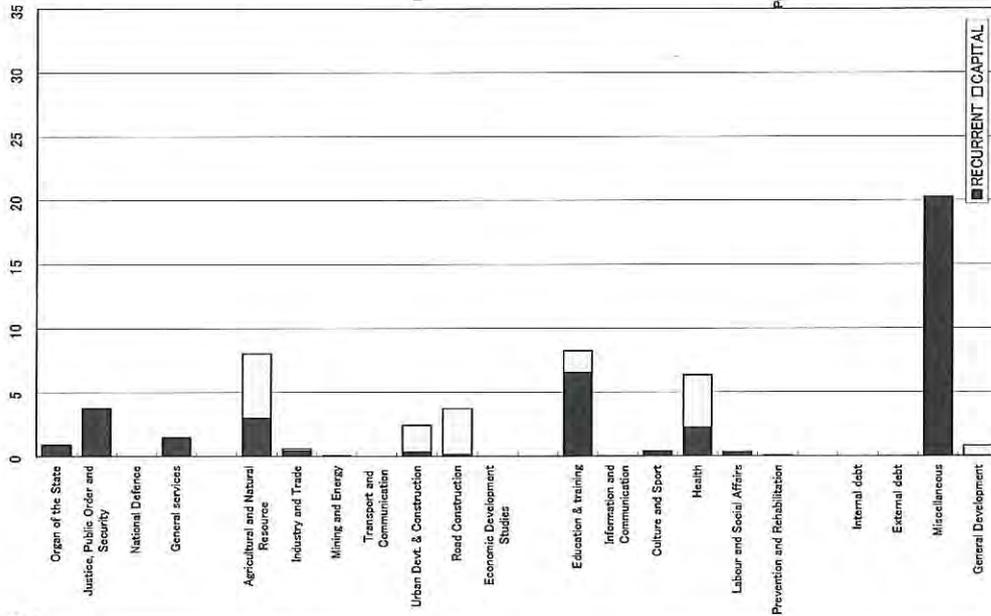
- 1) Follow up implementation of economic and fiscal politics of the region;
- 2) Prepare overall recurrent and capital budget plan depending upon proposed plan of regional executive bodies and submit with its recommendation to Regional Administrative Council, administer upon approval of “Caffee” and prepare supplementary budget proposal;
- 3) Supervise and follow up the observance of the Federal and Regional policies, strategies and laws of finance administration by executive organs;
- 4) Prepare long, medium and short term development plans of the region depending upon Federal and Regional economic development policies and strategies, follow up, supervise its implementation upon approval and, give technical assistance on preparation and presentation of program and projects, provide training, follow up its implementation, evaluate and submit report to concerned bodies;
- 5) Supervise and follow up the execution of the economic development projects entered by organs of the government found at different levels;
- 6) Follow up and evaluate implementation of good governance package at regional, district, urban and kebele level and submit output with recommendation to higher organ;
- 7) Ensure the inclusion of women’s interest and benefit in the economic development plan of the region;
- 8) Administer the regional government finance and make payment for government offices which have budget, follow up subsidy budget and other resources of the region expected from the federal government;
- 9) Prepare general periodic reports on the financial operation and property management;
- 10) Study and prepare necessary criteria for fair budgetary allocation, and submit same to the Regional Administrative Council;
- 11) Design government account system and supervise its implementation, inspect and cause to be inspected, take legal and corrective measures based on the results;
- 12) Prepare and close the general account of the Region; submit same to the Federal Government and other concerned bodies;
- 13) Issue directive concerning the government procurement procedure and supervise its implementation;

- 14) Design management and avoidance system of government properties out of use or not be used cause to be avoided, transfer or take a necessary measures;
- 15) Cause administration of movable and immovable properties that are not administered and owned by government organ or any person to be decided by court;
- 16) Evaluate project programs prepared by government sectors and make them supported by capital budget, supervise project implementation and utilization of capital budget, cause decisive project programs be studied and submitted for the development of the region;
- 17) Prepare regional statistics, profile and different maps by gathering natural resources, economic and social information that are important for development of the region, print and distribute same;
- 18) Co-ordinate, follow up and evaluate implementation of programs arranged based on population;
- 19) Collect, analyze and distribute geo-information data by use modern technology;
- 20) Prepare economic account that show development rate of the region;
- 21) Sign development project agreements made with non governmental organizations and other aid organizations undertaken in the region in collaboration with concerned bodies, follow up, supervise, organize, evaluate its implementation, and up on completion of the development projects undertake transfer of works and resources.”

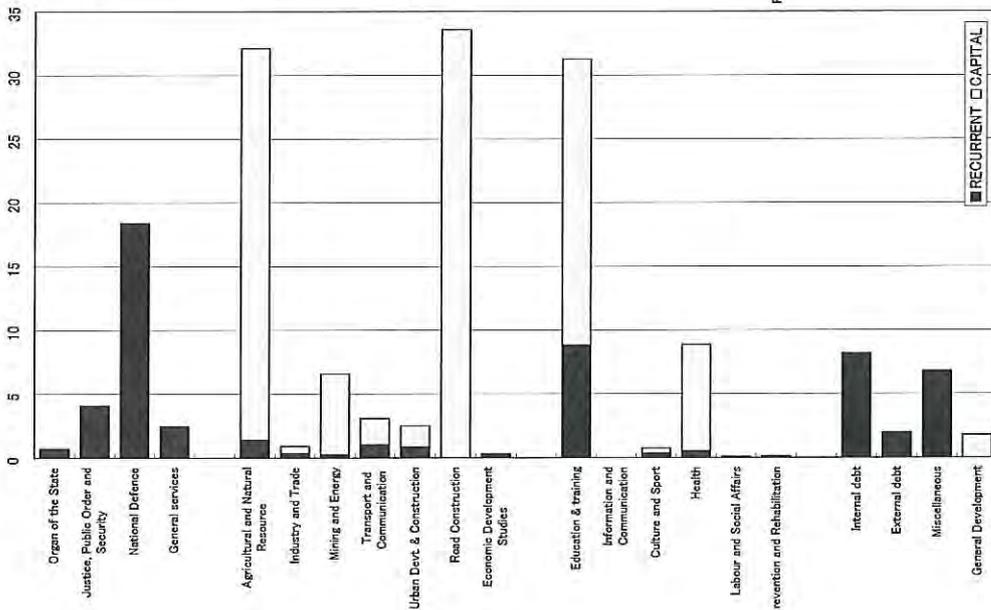
Public Expenditure per capita, EFY2008/09 (Oromia's Case)



Woreda
Capital 3.9 ETB
Recurrent 40.9 ETB



Region
Capital 17.6 ETB
Recurrent 39.9 ETB



Federal
Capital 107.9 ETB
Recurrent 56.6 ETB